



（一財）北海道開発協会では、地域情報発信支援事業として、北海道の歴史・文化を観光資源として活用するため、留学生など外国人にモニターとして現地を訪問してもらい、地域住民の皆さんとのふれあいの場を創出しながら、地域資源の再発見と当該地域のインバウンド観光振興に向けた情報発信活動を支援しています。  
平成30年度は、2019年1月12日、2月23日に滝川市で交流を行いました。

## クローズアップ①

### 地域情報発信支援事業 滝川の魅力発信とモニターツアー企画 滝川市1-DAYバスツアー

（一財）北海道開発協会開発調査総合研究所

#### 第1回目（1月12日 土曜日）

##### 料理交流会・昼食

滝川市身体障害者福祉センターで、滝川市民と滝川名産の「合鴨汁」、留学生出身地のインド「ひよこ豆のカレー」、インドネシア「ナシゴレン」「コラック」をグループに分かれて調理。参加者にムスリムとベジタリアンがいたため、ハラルフード<sup>※1</sup>を取り入れ、料理交流を楽しめる



献立としました。担当した以外の料理の作り方も知りたいという意見がありました。

##### 紙ランタンづくり、ゲーム大会

場所を丸加高原伝習館へ移動し、「たきかわ紙袋ランタンフェスティバル」に展示する紙袋ランタンを、地元の中高生を含めたボランティアや滝川市民のアドバイスのもと、参加者全員で作製しました。

滝川市の国際交流員3名が中心となり、市内および砂川市のALT<sup>※2</sup>10名を含めたチームが、「Winter Fun Day in Takikawa 2019」と銘打って屋外での雪遊びを含めた様々なアクティビティを楽しみました。

##### 意見交換会

当日のプログラムを振り返り、印象に残った点などを確認。国際交流員やALTが中心となって進行され

たゲーム大会、参加者からは滝川市のスタッフに対する感謝の言葉が上がったほか、滝川名物の合鴨汁に対する高い評価など、参加者の多くが今回のプログラムに満足したことが伺えました。滝川市の魅力についてSNSで発信すると答えた参加者は9割以上で、滝川市の関係者も事業実施の苦勞が報われたようです。

#### 第2回目（2月23日 土曜日）

前回に引き続き、滝川市役所で紙袋ランタンを地元ボランティアのアドバイスのもと作製しました。

##### 「紙袋ランタンフェスティバル」

制作した「紙袋ランタン」を各自が会場に持ち込み、重りとして中に雪を入れ、ロウソクを立てました。ボランティアの方々の手で紙袋ランタンに灯がともされ、参加者は各々カメラやスマホなどで写真を撮影し、記憶と記録に収めていました。

##### 夕食会

その日の夕食は、滝川発祥の松尾ジンギスカン本店で取りました。参加者28名中13名が羊肉を食さないムスリムやベジタリアンであったため、松尾ジンギスカンのご厚意で、ハラル認証を受けた鳥肉と野菜の寿司を用意していただき、大変好評で全員が大満足でした。



※1 ハラルフード  
イスラム教の教義に従って調整された食品。イスラム教徒が食べても良いとされる食品。

※2 ALT (assistant language teacher)  
外国語指導助手。日本の中学・高校で日本人教師の助手として外国語を教える外国人講師。